

# 板金総合6カ月コース

令和3年度（GMC第13期）

## 講座内容 ご紹介

（令和2年11月 第1版）

（注記）日程は休日やカリキュラム見直し等により一部変更される場合があります。



### 目次

- P. 1……講座の全体像「ねらい」と「特徴」
- P. 2……募集要項「受講生の目指すゴール」
- P. 3……全体カリキュラム構成の概要
- P. 4……技術講座の構成
- P. 5……資格取得講座の構成
- P. 6……人材育成講座の構成
- P. 7……企業見学その他の構成
- P. 8……大磯寮の施設、リフレッシュ活動

# 【講座の全体像】

新卒／未経験者を主対象としており、板金加工の知識・経験がまったくなくても、モノづくりに必要な専門知識と加工技能の体得を目的とする講座です。また、受講者が「一人前の社会人／職業人に成長する」ための自己変革が促進されるように、全寮制を採用し、独自の工夫を凝らした日課やカリキュラムで構成されています。

## 【講座のねらい】

### 1) 最新デジタル板金プロセスを使いこなす。

将来を担う若手向けに、板金加工理論や基本となる専門知識の習得、機械段取りや基本操作のみならず、3DCADをスタートにデジタル板金加工に取り組み、データ作りのポイントや作業のコツを実技課題を通して学び、最先端マシン／ソフトウェアを使いながら総合的に能力開発を行います。

### 2) 自ら考え工夫する力を高める。

デジタル板金加工の専門知識と加工体験を活かして、難易度が高い製品でも自社で保有する機械特性や金型などを考慮して、製品のデキバエ、製造コストや作り易さやすさの観点から、部品バラシや工程設計をおこない最適な加工方法を判定できる力量を目指します。

### 3) 3年～5年後の姿を具体化する。

自分が社会人／職業人として、与えられる役割を遂行する上で必要となる状態や要件を具体的にイメージさせて、自分が「達成すべきゴールはどこか？」を絞り込んで達成目標を明確にします。



## 【講座構成の特徴】



[分類名] 講座構成  
センター  
テージ

工場見  
学等  
9%

資格取  
得  
18%

技能講  
座  
63%

### □ 総合的な加工技能の修得

「一人で製品ができる」を目標に据えた「技能講座」が主体です。習得した知識／技能に合わせて、デジタル板金加工のツボを押さえつつ力量を高め、「どの工程でも活躍が期待できる水準」を目指します。また、現場実務で必要となる「7種類の公的資格」取得も含まれます。

### □ 全寮制と専用教室による訓練環境

一般的な通学による操作教育とは異なり、「全寮制と専用教室」制を採用しています。日々の決められた講習時間の受講のみならず、日々の講習前後に決められた日課が義務付けられます。また大磯教室活用などで、夜間等に補講などの対応もおこないます。個人専用PCが貸与され、ソフトはいつでもどこでもトレーニング可能です。

### □ 一人前への自己変革

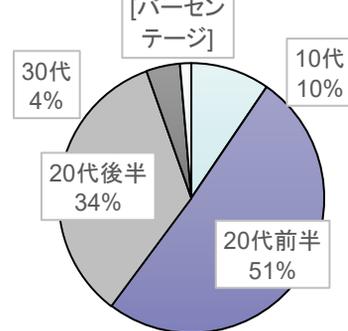
社会人／職業人として身につけるべき、日常習慣や言動、職務役割などの訓練も、日々の講習内容に組み込まれています。

職場で大切な対人関係能力を向上させるため、受講者相互の尊重／信頼／協力の重要性、チームワークの大切さなど、意見交換や講師陣の指導アドバイスにより、望ましい姿へ自己変革が常に求められます。

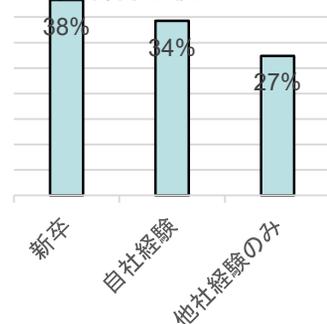
# 【募集要項】

- 受講対象 : 成人の方(未成年者は面談により決定)
- 受講定員 : 8名(定員に達した時点で締切りとさせていただきます)
- 開講期間 : 予定:令和3年4月1日(木)~9月18日(土)
- 講習日数 : 112日間 ( ㈱アマダカレンダー準拠 週休2日 夏季休暇有 )
- 講習時間 : 原則 9:00~17:00 7h (必要に応じて、夜間の補講実施)
- 基本日課 : 7:00 朝食 8:00 本校へ移動  
(本校講座) 8:30 講習準備(ソフト操作訓練、朝礼等)  
9:00~17:00 講座受講(昼休11:30~12:30)  
17:00 日報記述、終礼  
17:30 大磯寮へ移動、夕食、自習、フリータイム(必要に応じて補講)
- 講習場所 : ・伊勢原本校 専用教室、実習場  
・大磯寮 専用教室  
・その他外部機関、協力企業等
- 宿泊施設 : 株式会社アマダ大磯寮(男子寮) 個室、専用談話室、  
住所:〒259-0102 神奈川県大磯町生沢312-1 TEL:0463-73-4123  
女性の宿泊先は、別途相談させていただきます。  
また、刺青のある方は大磯寮に入寮できません。
- 受講費用 : ￥2,200,000-(税別)  
講習、講習日食事代、受講用品、通学、企業見学等の旅費含む

## 受講開始時年齢



## 受講前履歴



伊勢原本校 実習場



伊勢原本校 専用教室



アマダ 大磯寮 専用教室

## 【受講生の目指すゴール】

### 1) どの工程を担当しても活躍が期待できる技能を習得

現場で幅広く活躍が期待できる製造技術者を目指します。基本工作作業のヤスリがけ、測定はもちろん、3DCADデータ作成から始まり完成品まで、最新デジタル板金加工プロセスの活用能力のみならず、展開や工程設計も含め、加工作業のコツや、各工程マシン加工の留意点なども習得します。さらに現場改善手法の基本(5s、ムダ取り、不良)も含まれます。

### 2) 現場で必須の公的資格取得

現場作業を行なう場合に不可欠となる下記の「7種類の公的資格」を取得します。  
(略称) フォークリフト、床上クレーン、玉掛け、アーク溶接、プレス安全、研削といし、産業用ロボット安全

### 3) 社会人／職業人に必要なヒューマンスキル習得

全寮制の団体生活と各種訓練を通し、一人前と認められる日常規範やマナーの遵守、職務役割の実践訓練、人の心理、コミュニケーションのポイント、プレゼンテーション資料作成と発表、自己啓発等のカリキュラムも含まれます。

# 【全体カリキュラム構成の概要】

本講座は、大きく3つのカテゴリーに分類されます。

現場で「どの工程でも活躍が期待できる」総合的な板金技能の修得が最大の目標ですが、現場作業に従事する上で必要になる「7つの公的資格」取得も含まれます。

また、就業未経験の若者を想定し、社会規範や日常習慣、ビジネスマナー、職務役割などを、講座受講や大磯寮宿泊による日常生活を通じて指導訓練し、「社会人として一人前」を目指すカリキュラムも組み込まれています。

## □ 技能講座

### 板金加工の専門知識、ソフト／マシン操作、QCDを満たす加工技能習得

- ・板金の専門知識と機械操作や段取り等の技能を基礎から習得していきます。
- ・最新のソフト／マシンを使いながら、加工ポイントや作業のコツを習得します。
- ・高難易度のASSY課題や、自社製品、自由設計品等を製作し、QCDを満たす加工技能を訓練します。  
(各種ソフトインストール済み 高性能ノートPCを個人貸与)



## □ 資格取得講座

### 現場作業で必要となる「7つの公的資格」取得

- ① 床上操作式操作クレーン技能講習
- ② 玉掛け技能講習
- ③ フォークリフト運転技能講習
- ④ 動力プレス金型等の取付け取外し業務の特別教育
- ⑤ 産業用ロボットの教示等に関する業務の特別教育
- ⑥ 研削といしの取換え等の業務の特別教育
- ⑦ アーク溶接の特別教育



## □ 人材育成講座

### 社会人／職業人に必要なヒューマンスキルと自己啓発

- ・社会人の心構えや態度、日常行動、マナー等、日常生活で訓練します。
- ・職業人の役割行動(報・連・相等)、プレゼンテーション力などを身につけます。
- ・職場で重要な対人関係を良好に保つコミュニケーション力を高めます。
- ・豊富なビジネス図書により、自分の価値観を見つめ直し、自己啓発が促せます。



## その他:企業見学、座談会、修了生交流など

### 将来像を考え、目標とする姿を具体化

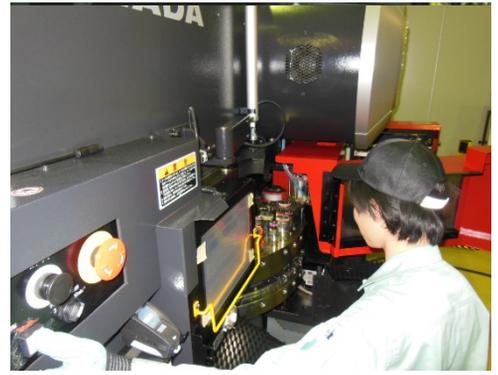
- ・最先端を進む板金企業を訪問し、工場見学だけではなく経営者と懇談して、苦労話や工場運営ポイント等をご説明頂きます。また、質疑応答も含まれ、若手社員に期待することなど、具体的なアドバイスも伺うことができます。
- ・修了生との交流では、先輩として受講時にやっておくべきこと、就業時の心構え、注意すべきことなど多くの経験談を聞くことができます。
- ・公共展示会の視察、最新設備の新機能、各種講演などの機会を通して有識者の将来予測情報にも触れながら、新たな気づきを得る機会が設けられています。

# 「技能講座」の構成

「QCDを常に意識」して、製品作りの難しさや面白さを体験。自分で考え工夫しながら挑戦し「どの工程でも活躍が期待できる」力量を目指します。

図面の読み方、展開、材料、工作作業(ヤスリがけ等)、などから学び始め、実習図面で工程設計、展開、NCデータ作成、各種工程の加工を、デジタル板金の最新加工プロセスを中心に訓練します。

次々に難易度を高めた課題に多数挑戦します。トライ&エラー体験を繰り返し、加工のポイントや、留意点、作業のコツなどを習得して、図面から製品を作り上げる能力開発を進めます。



## 講座構成の内容

### □ 板金加工概論

板金製品の使われ方、板金加工のアウトライン

### □ 板金図面

板金図面の読み方・書き方、材料、展開図作成

### □ CAD/CAM

3次元ソリッド板金CAD(SeetWorks)、  
2次元CAD/CAM(AP100)、  
ブランク加工データ作成全自動CAM  
曲げ加工データ作成全自動CAM

### □ 基本工作作業

けがき、ボール盤、タップ、仕上、測定機器・工具等

### □ ブランク加工

NCT、レーザ、複合機/パイプレーザ加工

### □ 曲げ加工

プレスブレーキ、曲げ金型、曲げ加工の自動化

### □ 溶接

TIG溶接、スポット溶接、ファイバー溶接/溶接ゼミ

### □ 汎用加工

シャーリング、バリ取機、アイアンワーカ、タッピングマシン等

### □ 製品加工

実習課題、自由課題、修了課題

### □ 工場板金技能検定対策

板金検定2級実技

### □ 生産管理

生産管理ソフトの機能と活用メリット

### □ 生産性向上の必要性和現場改善

コストダウンの重要性、改善テクニック、  
5S優良事例研究、ムダ取りテクニック

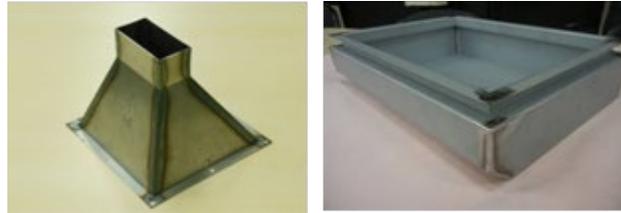
### □ 不良低減のキーポイント

問題解決アプローチ、QC8ステップ、QCツールの活用

【操作・段取り・基礎技能 実習課題例】



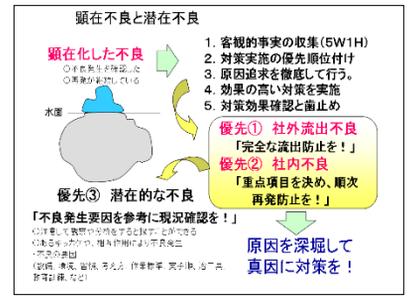
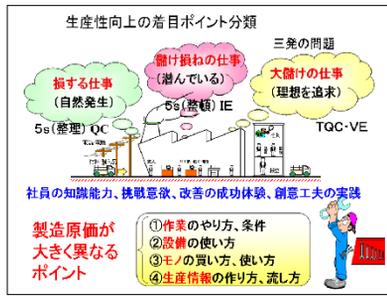
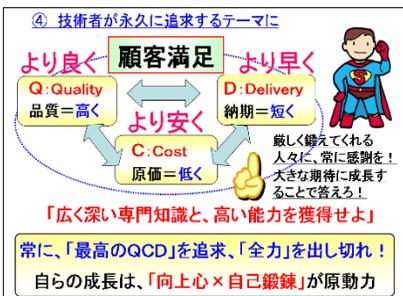
【Tig 溶接 実習課題 例】



【ASSY 実習課題 例】



自由課題(個人設計)実習 作品例



# 「資格取得講座」の構成

本講座を修了後、製造技術者として工場勤務する上で、現場作業に直接携わる場合に、必ず必要となる「7つの公的資格」を、アマダスクール内や外部機関の講習受講で取得できます。

## □【技能講習】

工場内勤務で、下記作業に携わる場合は、法的に「技能講習の資格」取得者でなければ、直接作業を行なうことができません。

- ① 床上式操作式クレーン運転技能  
(3日間:外部機関)
- ② 玉掛け技能講習  
(3日間:外部機関)
- ③ フォークリフト運転技能講習  
(4日間:外部機関) 注)普通自動車免許がない場合は、5日間



## □【特別教育】

工場内勤務者が、下記作業をおこなう場合は、労働安全衛生法(第59条3項)により、人身事故防止のために、事業者は特別教育を行わなければなりません。

- ① 動力プレスの金型等の取付け取外し  
又は調整の業務に係る特別教育  
(1.5日間 : アマダスクール)
- ② 産業用ロボットの業務に係る特別教育  
(1.5日間 : アマダスクール)
- ③ 研削といしの取替え等の業務に係る特別教育  
(4日間 : 外部機関)
- ④ アーク溶接等の業務に係る特別教育  
(4日間 : 外部機関)



# 「人材育成講座」の構成

「一人前の社会人」マナーとして「態度、挨拶、敬語」など日常生活で身につけるべき習慣や、言動を学び訓練します。  
社会人として「当たり前行動」が、キチンと習慣づくことも大きな目標です。

会社組織で必要な社員の職務役割(報・連・相など)の日常訓練も日課として含まれます。期間中は、自分の考えをまとめ他者に解り易く意見や提案を積極的かつ能動的に発信することが常に求められます。「良好な対人関係とチームワーク」は、メンバー相互の「信頼と協力」がベースであり、自らの積極的なコミュニケーションを通じて、互いを尊重し理解し合うことが基本です。

## □日課による訓練

日々の受講内容や、態度／言動などの自己評価、他者との係わり合いで得られた新たな気づき等の振り返りをおこない、レポート記述した日報の提出が義務付けられます。一日の終了時に、個人発表と相互の意見交換や、講師陣の指導やアドバイスなどにより、常に自分を高める意識と、行動変革が求められます。

## □ビジネスマナー、テーブルマナー

身だしなみ、お辞儀、敬語、  
挨拶、名刺交換、電話対応、来客対応  
テーブルマナー



## □人の心理と良好な対人関係のポイント

人の心理と行動  
自己診断(エゴグラム他)  
コミュニケーションのポイント



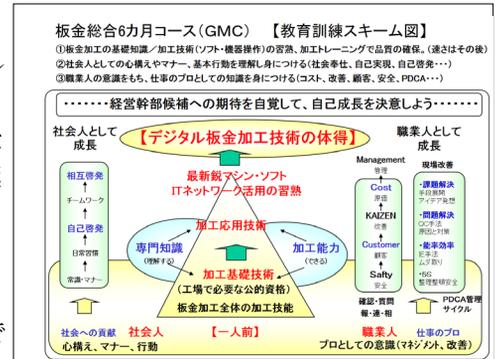
## □プレゼン・パソコン講習

PowerPoint 基本操作  
プレゼンテーション資料作成のコツ  
プレゼンテーションの伝え方  
質疑応答のロールプレイ



## □座談会、OB交流、講演会

人生の大先輩の価値観や考え方に触れる  
修了生の振り返り体験談に学ぶ  
世の中の変化や最新予測を学ぶ



## 【その他】 企業見学など

時代の先端を進む板金企業にご協力を仰ぎ、複数の企業見学と合わせ、現役経営者や幹部社員、後継者の方々と懇談しながら、生の声を直接お伺いできる貴重な機会が設定されています。

経営者の苦労話、重視して取り組んでいること、常に生産改善しているポイント、工場運営管理の考え方や仕組み、独自の各種工夫、設備投資に関する考え方など、企業経営や工場管理の視点のみならず、広範囲な部分で受講生の質問に答えていただいたり、アドバイスなどをお伺いすることができます。

その他、上場メーカー工場見学や、板金以外の企業見学、国際見本市等の視察など、最新のモノづくり情報の入手や、今後の世界情勢予測、業界動向、最新加工設備など、ビジネスマンとして最新情報把握の重要性を体験する場も設定されています。

### □ 時代の先端を進む板金企業／金属加工企業見学

精密板金部品メーカー、  
厨房機器関連メーカー、  
機械カバー、プレス関係等  
表面処理専門企業(メッキ)  
(株)アマダ 富士宮工場

注) 受講日程、協力企業の都合等で、訪問先が変更になる場合があります。



### □ 公共展示会等

設計・製造ソリューション展・機械要素展(東京ビッグサイト)、  
最新のモノづくりや業界動向がテーマの講演、アマダ展示会

注) 受講日程、開催日程の関係等で、訪問先が変更になる場合があります。



### □ 新聞チェック(毎日)、ビジネス図書閲覧

知識は学ぶことにより吸収することが前提ですが、手軽に繰り返し読める図書は、世の中の多くの知見を得る上で、非常に有効な手段です。本講座では人材育成の観点から、大磯寮専用教室、伊勢原校専用教室にて豊富にビジネス図書が用意されています。

#### ○ ビスネス図書の例

- 1) さすが!といわれる「話し方聞き方のビジネスマナー」 著:唐沢明 高橋書店
- 2) あたりまえだけどなかなかできない「仕事のルール」 著:浜口直太 明日香出版
- 3) 「一人前社員の新しいルール」 著:黒川勇二 明日香出版
- 4) 社長はなぜあなたを幹部社員にしないのか 著:小山昇 日経BP
- 5) 起業して3年以上続く人とダメな人の習慣 著:伊東潤 明日香出版
- 6) 「社長の手紙」若い人たちに贈り続けた大切なこと 著:長谷川和廣 プレジデント
- 7) 「社長のノート」仕事に大切な「気づきメモ」 著:長谷川和廣 カンキ出版  
(書店の在庫状況、廃版、新刊書移行等で課題図書は変更する場合があります。)

#### ○ 月次配布「Sheetmetal ましん&そふと」 マシニスト出版

#### ○ 本校専用教室内の常備雑誌 「プレジデント」、「日経トップリーダー」

○ 受講者個々に「日経新聞」を提供して、職業人として必要な経済情報に日々触れながら、世の中の変化や動きを知るとともに、朝の「新聞読み」習慣づけの環境を提供し、講義開始前の朝礼等で相互に意見交換する場で「時事話題のネタ」として活用します。

### □ 人材開発支援助成金対象講座

この講座は厚生労働省・都道府県労働局が主管する「人材開発支援助成金」の受給対象となる場合があります。詳しくはお近くの都道府県労働局へお問い合わせください。

ホームページ

[https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/koyou\\_roudou/koyou/kyufukin/d01-1.html](https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/koyou_roudou/koyou/kyufukin/d01-1.html)



# 大磯寮(男子寮)の施設

男性の場合は、株式会社アマダ「大磯寮」が宿泊可能です。相模湾を望む大磯海岸にも近く、恵まれた自然環境です。

受講生には、個室が提供され、日常生活に必要な設備が備え付けられています。また、夜間や休日等に相互交流が深められるように「専用談話室」が設置されています。

アマダスクール「大磯教室」も併設され、カリキュラム内容に応じた講習や、受講時間外の夜間や休日に補講などに使用します。



大磯寮全景

## 【寮生活の設備概要】

- ・個室は洗面所・トイレ・机・ベッド付き(寝具付)
- ・寮生共用の洗濯機・乾燥機(有料)が完備
- ・共同浴場(展望風呂)は、24時間利用可
- ・寝具、石鹸・シャンプー等は支給

住所: 〒259-0102

神奈川県中郡大磯町生沢312-1

TEL:0463-73-4123

女性は入寮できませんので、別途ご相談ください。

注) 刺青のある方は大磯寮に入寮できません。



大磯寮個室



大磯寮 専用談話室

## 「大磯寮の講習／寮生活風景」



## □ リフレッシュ活動

受講の疲れや、寮生活のストレス解消とリフレッシュを主目的に、講習時間外の夜間や休日等を使って、受講生と講師陣が一緒になって、スポーツ等で体を動かし汗を流しレクリエーションを行います。バドミントン、テニス、ボーリング、ボルダリングなどに取り組みながら相互交流を深め、チームとしての一体感を高める機会も設けられています。また、寮食堂だけでなく、夕食会なども適宜行いながら講師陣と共に、チームの一体感を高めます。

